

各ケースの総合比較

中間市水道ビジョンに示された将来像・目標に沿って評価することとする。

| | | Case1 | Case2 | Case3 | Case4 |
|--------------------|-------------------------------|---|--|---|--|
| 事業形態 | | 唐戸浄水場、西部浄水場を新設し単独事業経営 | 唐戸浄水場を新設し、西部受水を併用し単独事業経営 | 西部受水を併用し単独事業経営の後、15年程度先で事業統合 | 単独事業経営の後、5年程度先で事業統合 |
| 安定した水の供給 | 配水池の滞留時間12時間確保 | 滞留時間が不足している。配水池の整備が必要。 | 滞留時間が不足している。配水池の整備が必要。 | 今後配水池の整備が必要であるが、統合後の運用によっては配水池が不要となる可能性もある。 | 今後配水池の整備が必要であるが、統合後の運用によっては配水池が不要となる可能性もある。 |
| | 経年化施設率の低下 | 唐戸浄水場、西部浄水場の新設により、経年化施設率が改善される。 | 唐戸浄水場新設、西部浄水場廃止により、経年化施設率が改善される。 | 統合により、基本的には中間市が管理すべき施設は無くなる。 | 統合により、基本的には中間市が管理すべき施設は無くなる。 |
| | 経年管布設率の低下 | 今までと同等の整備進捗しか期待できない。 | 今までと同等の整備進捗しか期待できない。 | 統合に向けて整備レベルが短期間に向上する。 | 統合に向けて整備レベルが短期間に向上する。 |
| | 監視制御システムの充実 | 唐戸浄水場、西部浄水場の新設により、監視制御システムが充実する。配水池については整備が必要。 | 唐戸浄水場の新設により、監視制御システムは充実する。配水池については整備が必要。 | 今後配水池の整備が必要であるが、統合後の運用によっては配水池が不要となる可能性もある。 | 今後配水池の整備が必要であるが、統合後の運用によっては配水池が不要となる可能性もある。 |
| | 経営の安定化 | 財政シミュレーションによる料金改定が必要 | 財政シミュレーションによる料金改定が必要 但し想定している受水単価の変動によっては料金が変動。 | 財政シミュレーションによる料金改定が必要 但し想定している受水単価の変動によっては料金が変動。 統合後の起債償還に対して手当が必要。 | 財政シミュレーションによる料金改定が必要 統合後の起債償還に対して手当が必要。 |
| | 技術の伝承 | 包括的民間委託等を活用して、職員の負担軽減及び技術の伝承といった対策が必要。 職員の資格取得支援対策も必要。 | 包括的民間委託等を活用して、職員の負担軽減及び技術の伝承といった対策が必要。 職員の資格取得支援対策も必要。 | 自治体Aにより維持される。 | 自治体Aにより維持される。 |
| 安全でおいしい水の供給 | 高度浄水処理の導入 | 唐戸浄水場、西部浄水場の新設により、改善される。 | 唐戸浄水場の新設により、改善される。 西部受水エリアは自治体Aと同等の水質が確保される。 | 全域、自治体Aと同等の水質が確保される。 | 全域、自治体Aと同等の水質が確保される。 |
| | 水質管理体制の充実 | 現在の水質監視・管理体制を強化する。 | 現在の水質監視・管理体制を強化する。 | 全域、自治体Aと同等の水質が確保される。 | 全域、自治体Aと同等の水質が確保される。 |
| 災害に強い水道 | 基幹施設の耐震化率の向上 | 唐戸浄水場、西部浄水場の新設により、耐震化率が改善される。 導水施設については整備が必要。 | 唐戸浄水場の新設により、耐震化率が改善される。 導水施設については整備が必要。 | 統合により、基本的には中間市が管理すべき施設は無くなる。 自治体Aと同等の災害対策レベルが確保される。 唐戸浄水場の改修を行わないため、多額の補修費の発生または施設が使用不能になるおそれがある。 | 統合により、基本的には中間市が管理すべき施設は無くなる。 自治体Aと同等の災害対策レベルが確保される。 |
| | 非常時における応急 | 緊急遮断弁、応急給水拠点の整備が必要。 | 緊急遮断弁、応急給水拠点の整備が必要。 | 自治体Aと同等の災害対策レベルが確保される。 | 自治体Aと同等の災害対策レベルが確保される。 |
| 親しみやすい水道事業 | 給水サービスの向上 | 料金改定への理解を得る必要がある。 給水サービスの向上に向けた対策が必要。 | 料金改定への理解を得る必要がある。 給水サービスの向上に向けた対策が必要。 | 料金改定への理解を得る必要がある。 数年後には、北九州市と同等の料金となる。 自治体Aと同等の市民サービスレベルとなる。 | 料金改定への理解を得る必要がある。 数年後には、北九州市と同等の料金となる。 自治体Aと同等の市民サービスレベルとなる。 |
| 環境負荷の小さい水道 | 1m3当り使用電力量の削減 | 唐戸浄水場、西部浄水場の新設による、施設の効率化に伴い、使用電力量の削減が期待できる。 再生可能エネルギーの活用等への取組が必要 | 唐戸浄水場新設による、施設の効率化及び西部浄水場の廃止に伴い、使用電力量の削減が期待できる。 再生可能エネルギーの活用等への取組が必要 | 自治体Aと同等となる。 | 自治体Aと同等となる。 |
| 当面必要となる施設整備費(設計費含) | 浄水場関連 | R4~R13 ¥ (削除) | R4~R13 ¥ (削除) | R4~R18 ¥ (削除) | R4~R8 ¥ (削除) |
| | 統合に向けた配管整備 | ¥0 | ¥0 | ¥ (削除) | ¥ (削除) |
| | 合計 | ¥ (削除) | ¥ (削除) | ¥ (削除) | ¥ (削除) (5年間で(削除)円の配管工事は物理的に困難) |
| 内部留保資金残高 | R40 ¥ (削除) (次回更新のための蓄え) | R40 ¥ (削除) (次回更新のための蓄え) | R18 ¥ (削除) (統合のための予備費) | R8 ¥ (削除) (統合のための予備費) | |
| 企業債残高 | R40 ¥ (削除) | R40 ¥ (削除) | R18 ¥ (削除) | R8 ¥ (削除) | |

- * 良好となる要素
- * 問題となる要素
- * 不確定な要素